画像整理アプリ デザイン原則案 v1.2 (アイコン選定反映版)

## 1. 基本思想

* **効率性と直感性**: ユーザーが目的（不要な画像の特定と整理）を迅速かつ迷いなく達成できることを最優先とする。操作は直感的で、学習コストを低く抑える。
* **明瞭性と一貫性**: 情報は明確に提示し、アプリケーション全体でUI要素の見た目や振る舞いに一貫性を持たせる。ユーザーが次に何をすべきか、現在の状態がどうなっているかを容易に理解できるようにする。
* **安全性と信頼感**: ファイル操作（特に削除）は慎重に行えるようにし、ユーザーに安心感を与える。処理の進捗や結果を適切にフィードバックする。
* **シンプルさとクリーンさ**: 過度な装飾を避け、必要な情報と機能に集中できる、すっきりとしたクリーンなインターフェースを目指す。HTMLモックアップで示されているミニマルなデザインを踏襲する。

## 2. カラースキーム

HTMLモックアップで使用されているTailwind CSSのカラーパレットをベースとする。

* **ベースカラー**:
  + 背景: ホワイト (#FFFFFF) または非常に明るいグレー (例: bg-slate-50, bg-gray-100, bg-slate-100 モックアップ設定画面背景)。クリーンで落ち着いた印象を与える。
  + メインコンテンツエリア背景: ホワイト (#FFFFFF)。
* **アクセントカラー**:
  + プライマリーカラー: ブルー系 (例: blue-500, blue-600 モックアップのタブアクティブ色、一部ボタン)。信頼感、安定感を与え、主要なアクションボタンやアクティブな要素に使用。
  + セカンダリーカラー（補助）:
    - グリーン系 (例: green-500): 成功や完了を示すアクション（例: スキャン開始、OKボタンなど、現状モックアップではブルー系が多用されているため、統一感を考慮しつつ検討）。
    - アンバー/オレンジ系 (例: amber-500 モックアップの「ゴミ箱へ」ボタン): 注意や中間的なアクション。
    - レッド系 (例: red-600 モックアップの「完全に削除」ボタン): 破壊的なアクションやエラー表示。
    - スカイブルー系 (例: sky-500 モックアップの「移動」ボタン): 通常のアクション。
  + ニュートラルカラー（ボタン等）: スレートグレー系 (例: slate-200 slate-500 slate-600 モックアップのフィルターボタン、一部アクションボタン)。
* **テキストカラー**:
  + 基本テキスト: ダークグレー (例: text-slate-800, text-gray-700)。純粋な黒 (#000000) よりも少し柔らかい印象。
  + 補助テキスト/説明テキスト: ミディアムグレー (例: text-slate-600, text-gray-500)。
  + リンク/インタラクティブテキスト: プライマリーカラー（ブルー系）。
* **ボーダー/区切り線**: ライトグレー (例: border-slate-200, border-gray-300)。要素間の区別を明確にしつつ、主張しすぎないようにする。

## 3. タイポグラフィ

* **フォントファミリー**:
  + 基本フォント: Inter (HTMLモックアップで使用)。可読性が高く、モダンなサンセリフ体。OSの標準フォント（Windowsなら Yu Gothic UI や Meiryo UI、macOSなら San Francisco）をフォールバックとして指定。
* **フォントサイズ** (Tailwind CSSのクラスを参考に調整):
  + 基本テキスト: text-sm (14px) または text-xs (12px) を基準に、情報の種類に応じて調整。
  + 見出し (H1, H2, H3など): text-lg (18px), text-xl (20px) など階層に応じて。
  + ボタン内テキスト: text-xs (12px) または text-sm (14px)。
  + 補助テキスト/ラベル: text-xs (12px)。
  + 全体的に、読みやすさを確保できる十分なサイズを保つ。
* **フォントウェイト** (Interの場合):
  + 通常: font-normal (400)
  + 見出し/強調: font-semibold (600) または font-medium (500)。
* **行間**: leading-normal や leading-relaxed など、Tailwind CSSのユーティリティを適切に用い、可読性を高める。

## 4. アイコンスタイル

* **使用アイコンセット**: **Google Fonts Icons (Material Symbols and Icons)** の **"Outlined" スタイル**を基本とします。
  + 詳細は「画像整理アプリ アイコンアセット集」を参照してください。
* **スタイル**: シンプルで線的なアイコン。モダンでクリーンな印象に合う。
* **利用方法**: **SVG形式でHTMLに直接埋め込むことを推奨**します。これにより、必要なアイコンのみを含め、色の制御（fill="currentColor"によるテキスト色継承）やサイズの調整（Tailwind CSSクラス）が容易になります。
* **サイズ**: テキストサイズやボタンサイズに合わせて調整。一般的には16x16px (w-4 h-4), 20x20px (w-5 h-5), 24x24px (w-6 h-6)など。
* **色**: 通常は親要素のテキストカラーを継承 (fill="currentColor")。必要に応じて個別に指定することも検討。アクティブ時やホバー時にアクセントカラーを使用することも検討。
* **一貫性**: アプリケーション全体で同じスタイルセットのアイコンを使用する。

## 5. レイアウトと余白

* **グリッドシステム（概念的）**: 要素の配置に一定のルール（例: 4pxまたは8pxベースのグリッドなど）を設け、視覚的な整合性を保つ。Tailwind CSSのスペーシングユーティリティ (p-2, m-4 など、0.5rem, 1rem に相当）を積極的に活用。
* **余白（パディング・マージン）**:
  + 要素間の余白を十分に確保し、窮屈な印象を与えないようにする。
  + 情報のグループ化を明確にするために、関連する要素間の余白は狭く、異なるグループ間の余白は広く取る。
* **コンポーネントの角丸**: HTMLモックアップで採用されているように、ボタンやカード、入力フィールドなどのUI要素には適度な角丸（例: Tailwind CSS の rounded-md や rounded-lg）を適用し、柔らかい印象を与える。

## 6. インタラクションのフィードバック

* **ホバー状態**: マウスオーバー時に背景色をわずかに変更したり（例: hover:bg-slate-100）、テキストに下線を表示したりするなど、インタラクティブな要素であることを示す。Tailwind CSSの hover: プレフィックスを活用。
* **アクティブ/フォーカス状態**: クリック時やキーボードフォーカス時に、枠線を表示したり（例: focus:ring-2 focus:ring-blue-500）、背景色を濃くしたりするなど、明確な視覚的フィードバックを提供する。Tailwind CSSの active:, focus: プレフィックスを活用。
* **無効状態**: 操作できないボタンなどは、色を薄くしたり（例: opacity-50）、カーソルを not-allowed にしたりして、操作不能であることを示す。Tailwind CSSの disabled: プレフィックスを活用。

## 7. アクセシビリティ (WCAG 2.1 AA準拠を目標)

* **コントラスト比**: 背景色と前景（テキストやアイコン）のコントラスト比を十分に確保する（例: テキストは4.5:1以上、大きな文字は3:1以上）。ツールを使って確認する。
* **キーボードナビゲーション**: 全てのインタラクティブ要素がキーボード（Tabキー、Enterキー、Spaceキー、矢印キーなど）で操作できるようにする。フォーカスインジケータを明確に表示する（Tailwind CSSの focus:ring など）。
* **代替テキスト**: 画像やアイコンボタンには、スクリーンリーダーが読み上げられる適切な代替テキストを提供する（Electronの場合、HTMLの alt 属性や aria-label 属性など）。
* **意味論的HTML**: 適切なHTMLタグを使用し、UIの構造と意味を正しく伝える。

これらの原則案を元に、具体的なUIコンポーネントのデザインを進めていくことになります。 HTMLモックアップのスタイルを尊重しつつ、より一貫性があり使いやすいUIを目指します。